

1. 内政

・17日、議会は、共産党が10日に提出したレアンカ内閣の不信任決議案を否決。同日、同党議員は、沿ドニエストル地域との境界への検問所の設置は国土の分割につながるとして内閣不信任決議案を再度提出。コルマン議会議長は、同決議案は24日に審議される予定である旨発言。

2. 経済

▼ガス

・英「キャニオン・オイル&ガス」社は、モルドバ Cahul 地区でのシェールガス開発に関して、モルドバ政府と開発協力に関する合意文書を締結する予定と発表。同社は、既に100万ドルを投資し、同地区の二カ所で採掘を実施、その一カ所からは2013年1～8月期で250万バレルの石油を生産。

3. 外政

▼ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相のスロバキア訪問

・16日、スロバキアを訪問したゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ライチャーク副首相兼外務・欧州問題相と会談し、両国協力の現状及び発展の展望及びモルドバの欧州統合路線等に関し協議。ライチャーク大臣は、モルドバが2014年のスロバキア発展基金の優先的援助対象国と決定した旨発言。

▼その他

・15日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、来訪したマンセルヴィジ欧州委員会内務総局長と会談し、モルドバ国民に対するEUへの査証免除化に関する行動計画の第2段階の履行状況及び司法・内務分野における改革の実施状況等に関し協議。

・18日、リンケビチュウス・リトアニア外相は、モルドバはウクライナより早くEUへの査証免除制度を獲得する可能性がある旨発言。また、同日、イルヴェス・エストニア大統領は、EUへの査証免除はモルドバ国籍を有しない沿ドニエストル住民には適用されない旨発言。

・18日、ブマコフ農業・食品産業相は、モスクワを訪問し、オニシチェンコ露連邦消費者権利保護・福祉分野監督庁長官とモルドバ産ワインのロシアへの供給再開問題に関し協議。

4. 沿ドニエストル

・16日、シェフチューク「大統領」は、ティラスポリを訪問したマンセルヴィジ欧州委員会内務総局長と会談し、モルドバ・沿ドニエストル地域間の移動の自由の問題に関し協議。同「大統領」は、両地域間へ検問所を設置したモルドバ側による一方的行為に対し懸念を表明し、紛争解決プロセスは困難になるであろう旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)